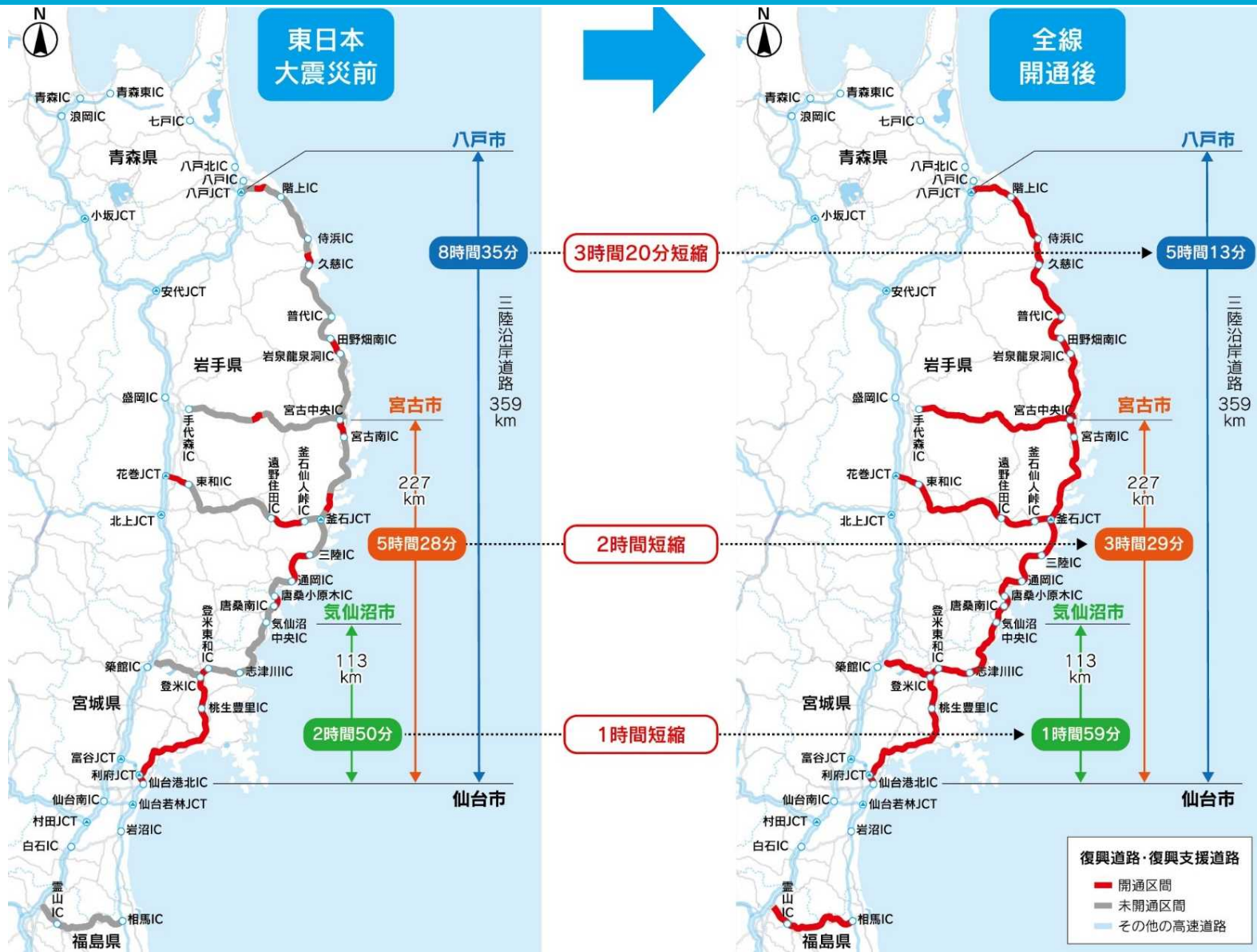


三陸沿岸道路の整備効果について

三陸沿岸道路の時間短縮効果



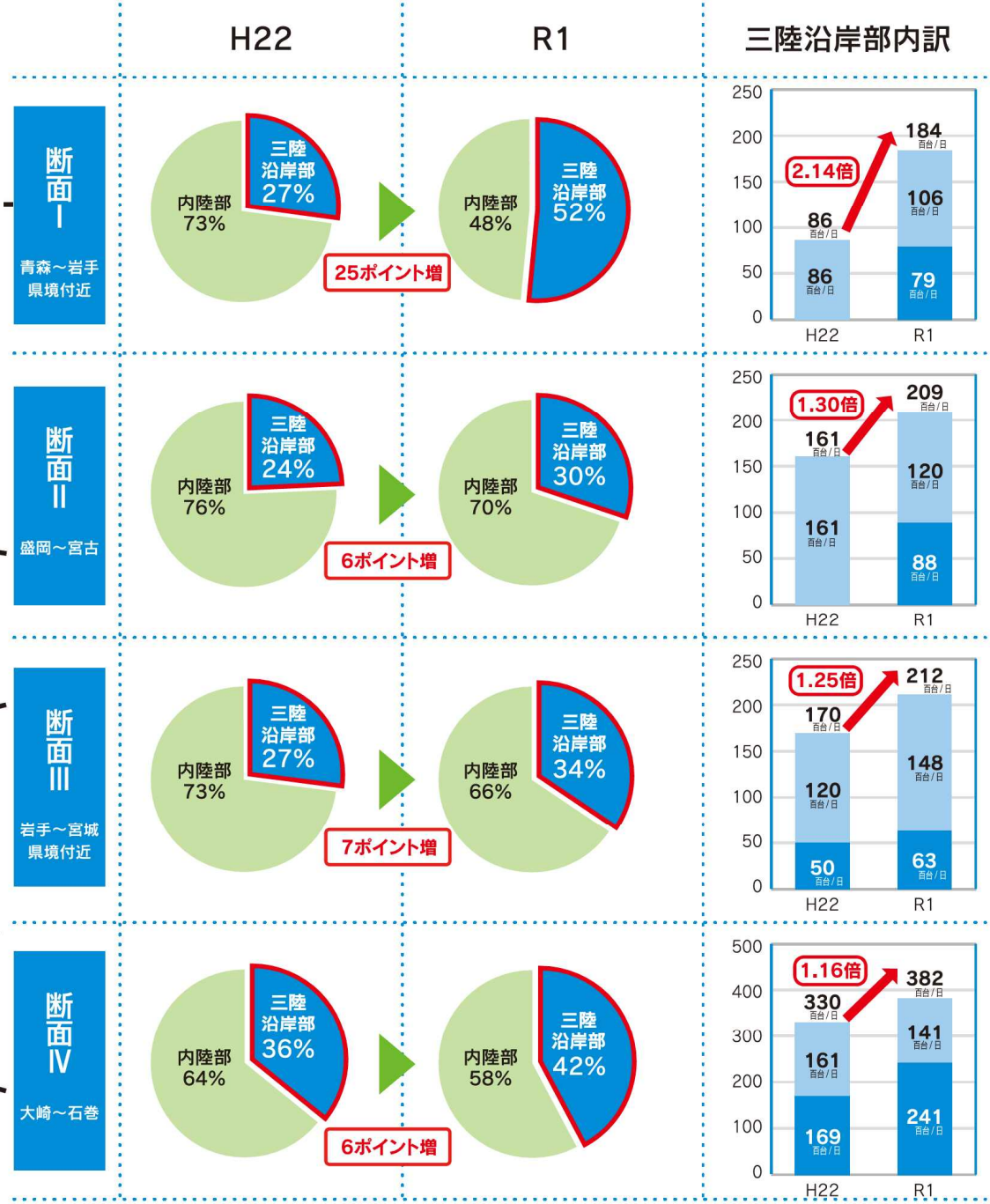
	東松島市	石巻市	女川町	登米市	南三陸町	気仙沼市
仙台市	5 9分 → 5 1分 (8分短縮)	1時間12分 → 1時間2分 (10分短縮)	1時間44分 → 1時間20分 (24分短縮)	1時間38分 → 1時間21分 (17分短縮)	1時間58分 → 1時間27分 (31分短縮)	2時間50分 → 1時間59分 (51分短縮)

※上段: H22時点 中段: 全線開通時 下段: 所要時間差

三陸沿岸部へ交通流動が変化

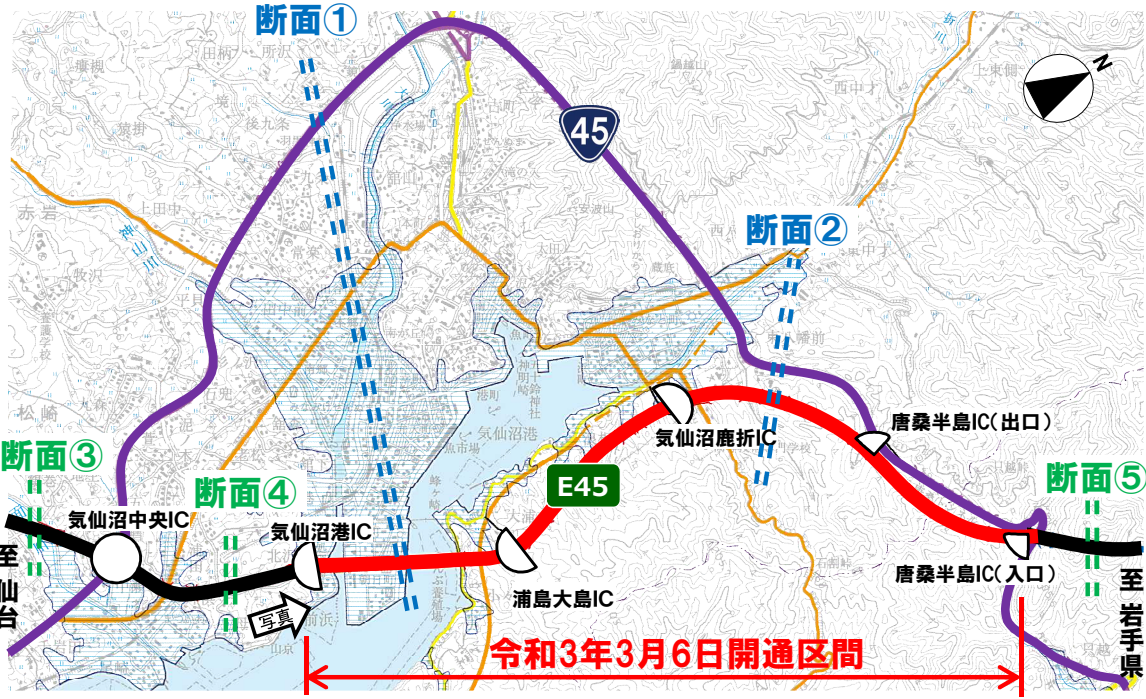


出典:トラフィックカウンタデータ(各年10月平均)

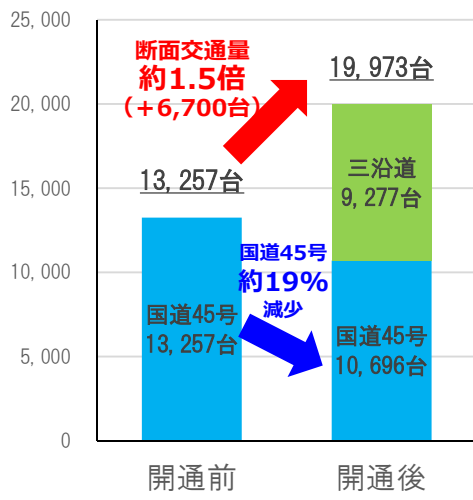


三陸沿岸道路全線開通後の交通量(速報)

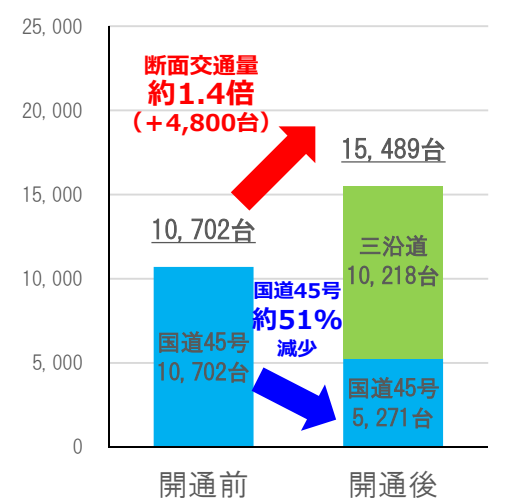
国道45号と三陸沿岸道路の断面交通量変化



断面① (気仙沼港IC～浦島大島IC断面)

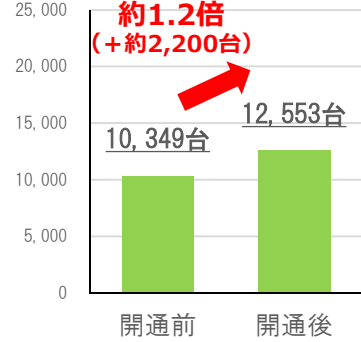


断面② (気仙沼鹿折IC～唐桑半島IC断面)

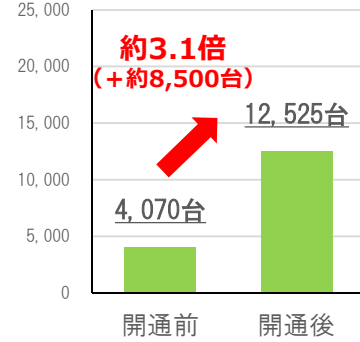


開通区間の前後区間の交通量変化

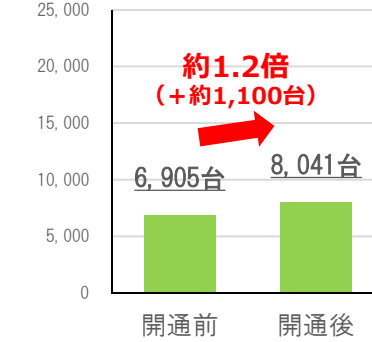
断面③ (岩井崎IC～気仙沼中央IC)



断面④ (気仙沼中央IC～気仙沼港IC)



断面⑤ (唐桑半島IC～唐桑小原木IC)



資料 交通量観測結果(24時間)
 開通前:2021.3.3(水) 開通後:2021.3.10(水)





三陸沿岸道路の交通量推移(震災前～全線開通後:速報)

三陸沿岸道路の区間別交通量(4月平日平均)

(台/日)

区間 (IC名)	東松島市	石巻市		登米市	南三陸町	気仙沼市		
	鳴瀬奥松島 ～ 矢本	石巻河南 ～ 石巻女川	河北 ～ 桃生豊里	登米 ～ 登米東和	志津川 ～ 南三陸海岸	岩井崎 ～ 気仙沼中央	気仙沼港 ～ 浦島大島	唐桑半島 ～ 唐桑小原木
H22	26,200	16,400	15,400	3,100	-	-	-	-
H24	31,200	18,100	18,100	5,000	-	-	-	6,400
H28	37,200	26,500	21,200	7,200	-	-	-	7,300
H29	38,400	29,100	23,200	10,900	6,700	-	-	7,700
R1	38,400	30,800	24,200	13,400	10,600	11,400	-	8,600
R3	35,300	29,300	22,600	12,800	10,500	13,000	8,200	7,600

震災前(H22)
との差

 **+9,100台 (1.4倍)**
 **+12,900台 (1.8倍)**
 **+7,200台 (1.5倍)**
 **+9,700台 (4.1倍)**

・交通量はトラフィックカウンターによる計測値(4月平日平均)
 H22: 震災前(登米東和ICまで開通)
 H24: 震災後(登米東和ICまで開通)
 H28: 石巻女川ICまで4車線化(石巻女川IC新設(H27.10))
 H29: 南三陸海岸ICまで開通(H29.3)
 R1: 気仙沼中央ICまで開通(H31.2(小泉海岸IC～本吉津谷IC間除く))
 R3: 宮城県復興道路全線開通(R3.3)

復興道路沿線の連携事例(水産業)

石巻港～八戸港まで約300kmが射程
原料調達の広域化により生産安定化
 気仙沼の工場への仕入れ状況



出典：ヒアリング調査結果 (R3.1)

県を越えた三陸沿岸エリアの連携
タッグを組んで水産品を海外輸出
 三陸コーポレーション共同出資会社



個社では不足する海外輸出の経験・ノウハウ・ブランド力を強化



出典：株式会社三陸コーポレーション資料

復興道路沿線の連携事例(震災伝承)

復興道路沿線の震災伝承施設



移動時間短縮で 語り部の時間を十分に確保



- 道の駅「上品の郷」を発着として、石巻市街地方面や大川小学校などへの案内を行っています。
- 河北10を利用することで、語り部の時間を減らすことなく他のエリアも訪れることが可能となっています。

- 時間に余裕ができたことで、震災の状況だけでなく、これまで以上に「命を守る行動」の大切さ等も話せるようになりました。

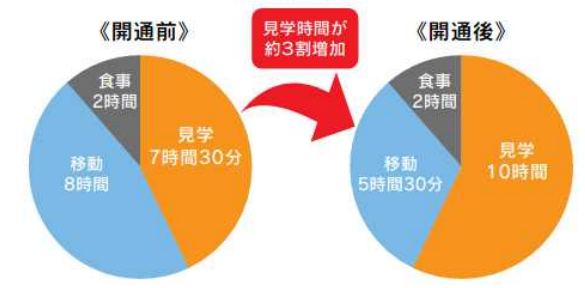
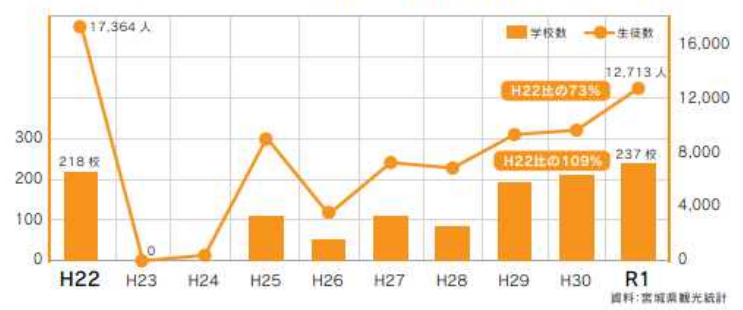


- 復興道路の開通により渋滞の懸念が解消されたため、仙台行きのシャトルバスの出発時間を15分遅らせることができました。
- お客様には帰りの朝に、当館から運行している1時間程度の語り部バスツアーに時間の余裕をもって参加いただくことができるようになりました。



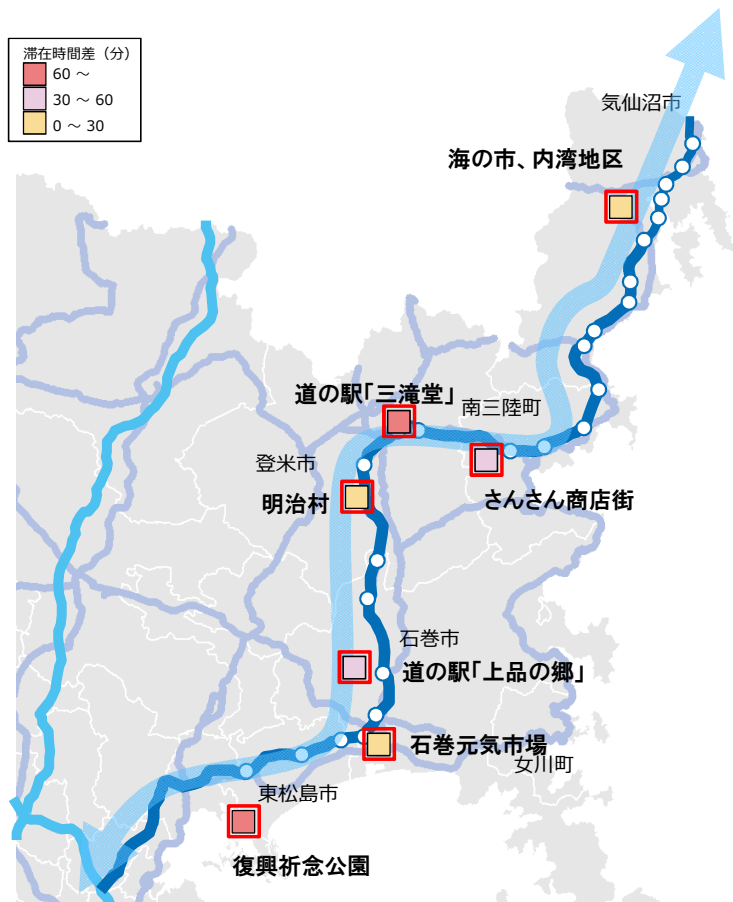
震災の教訓を学ぶ 教育旅行が増加、見学エリアも拡大

気仙沼圏域(気仙沼市・南三陸町)を訪れる教育旅行の学校数と生徒数



ビックデータで見る滞在時間の変化

主要な観光地における平均滞在時間の変化



※対象エリア
復興道路沿線の観光地に発着があるデータ
(気仙沼市、南三陸町、登米市、石巻市、東松島市)

※滞在判定
1kmメッシュに30分以上滞在したデータ

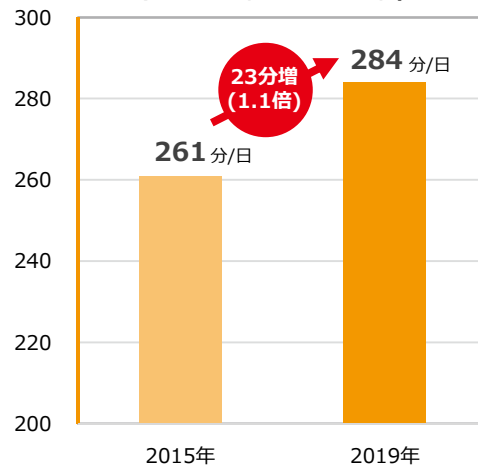
※対象車両
貨物用途を除く車両 (乗用及び乗合)

※対象期間
2015年: 4~12月 (計316台)
2019年: 4~12月 (計10,339台)

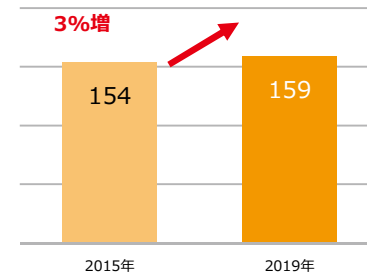
※分析ツールには、プローブ交通情報管理解析システム「PROTANAS」を使用。

※メッシュ分析には、データ数の信頼度の観点から、サンプル数が10台以下のメッシュは使用せず。

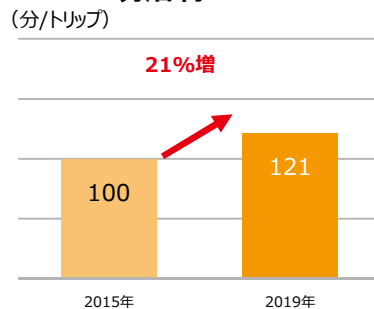
1日の観光滞在時間の変化 (2015年・2019年)



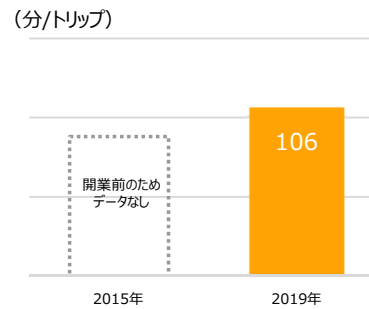
海の市、内湾地区 (気仙沼市) (分/トリップ)



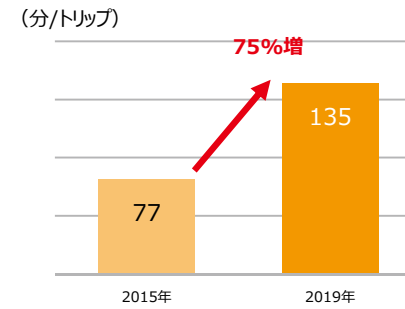
明治村 (登米市) (分/トリップ)



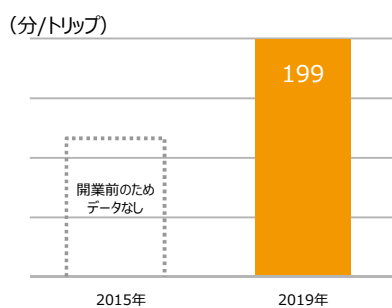
道の駅「三滝堂」 (登米市) (分/トリップ)



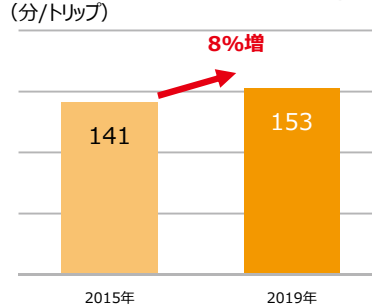
さんさん商店街 (南三陸町) (分/トリップ)



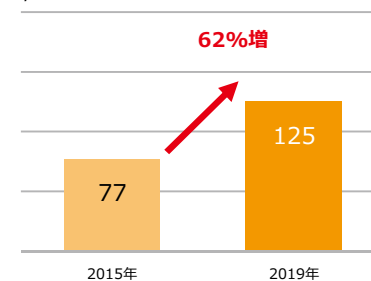
復興祈念公園 (東松島市) (分/トリップ)



石巻元気市場 (石巻市) (分/トリップ)



道の駅「上品の郷」 (石巻市) (分/トリップ)



出典: ETC2.0データ(2015年からの蓄積データを用いて、観光地における滞在時間の変化を分析)

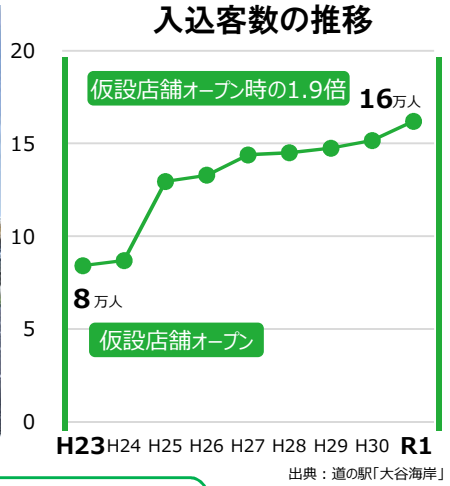
復興道路沿線の連携事例(道の駅)

復興道路沿線に、新たな道の駅が誕生

道の駅「大谷海岸」(気仙沼市)※R3.3.28リニューアルオープン



写真提供：気仙沼市

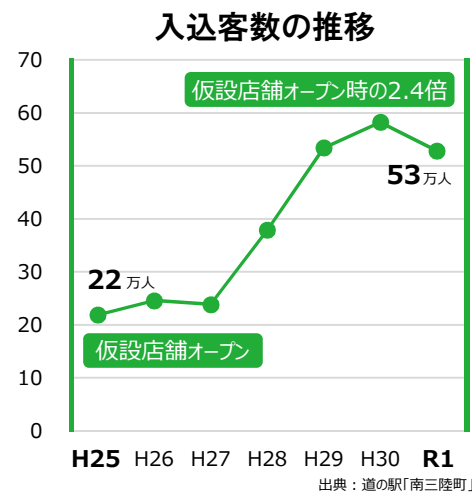


- 復興道路の全線開通と同じく、ようやくリニューアルオープンを果たすこととなりました。
 - 仙台まで1時間45分でアクセスできるようになり、復興道路を使って北から南から、多くのお客様が訪れることになると期待しております。
- (道の駅「大谷海岸」駅長)

南三陸さんさん商店街(南三陸町)※R3.4.19登録



写真提供：隈研吾建築都市設計事務所

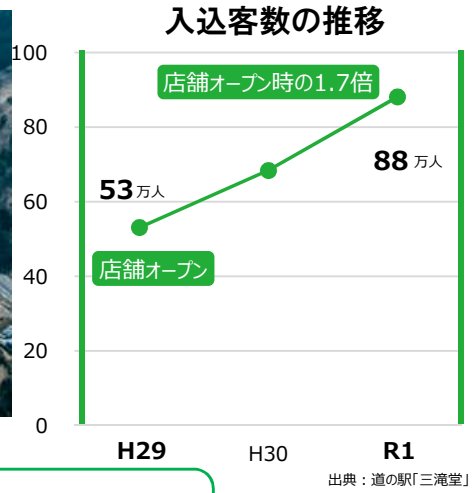


- 仙台圏や北東北エリアからアクセス時間が短縮されることで、来訪のきっかけや新たな観光ルート発掘などを期待しております。
 - 「さんさん商店街」においても、様々な仕掛けや発信をしていきたいと思っております。
- (南三陸志津川さんさん商店会 会長)

道の駅「三滝堂」(登米市)



写真提供：道の駅「三滝堂」



- 人や物の交流が活発になることを期待しております。
 - 増えていく復興道路を利用する方々にとって、道の駅「三滝堂」が気軽に寄っていただける場所、地域のふれあい処となるように、継続して取り組んでいきたいと思っております。
- (道の駅「三滝堂」駅長)